

# 外来フェーズの引き上げ（感染警戒期→感染拡大期）

12月14日時点の平均外来患者数は約4,800人であるが、直近の患者増加傾向や発熱外来の負担を踏まえ、年末に向け、早期に流行期に備えるため、**外来フェーズを「感染拡大期」に引き上げ**を実施

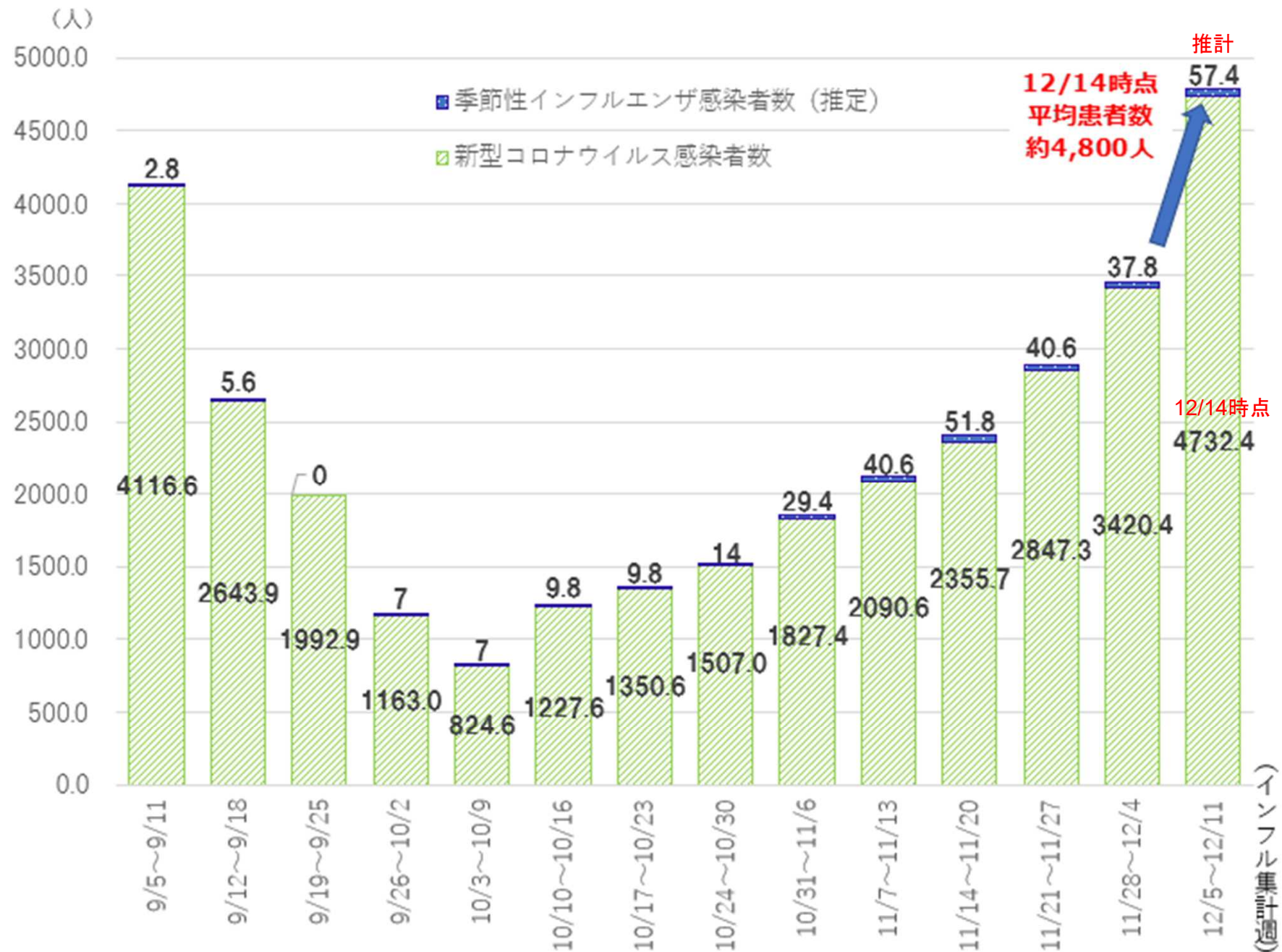
- 流行期に向け、**発熱外来の診療時間延長検討**や**臨時外来等の設置準備**を開始
- 流行期に、低リスク者が自己検査、自主療養を積極的に活用するよう県民へ呼びかけ
  - ① **抗原検査キットや常備薬の事前準備の呼びかけに加え**
  - ② **低リスク者が自己検査・自宅療養するよう、症状に応じた外来受診・療養を周知**

外来フェーズ	感染警戒期	感染拡大期	流行期
平均外来患者数(※)	～約5,000人/日	約5,000人/日～ (第6波ピーク並み)	約9,000人/日～ (第7波ピーク2週前患者数) 最大外来受診想定 <b>2.9万人</b> へ順次対応
外来提供体制	地域の実情に応じた輪番制や臨時外来等の <b>設置検討</b>	・発熱外来診療 <b>時間延長検討</b> ・臨時外来等の設置準備	・発熱外来の <b>診療時間延長</b> ・臨時外来の実施
呼びかけの狙い	【事前準備の促進】 ①ワクチン接種の勧奨 ②常備薬・検査キット購入	【重症化リスク別の行動喚起】 高リスク者：速やかな受診 低リスク者：自己検査・自宅療養	【重症化リスク別の行動の徹底】 高リスク者：速やかな受診 低リスク者：自己検査・自宅療養
県民へのメッセージ	・ワクチン接種の推奨 ・ <b>常備薬、抗原検査キットの家庭備蓄の呼びかけ</b>	左に加えて ・重症化 <b>リスクの低い軽症者</b> (13才～64才)へ <b>自己検査、自主療養の呼びかけ</b>	・重症化 <b>リスクの低い軽症者</b> (13才～64才)の <b>自己検査、自主療養の更なる協力依頼</b>

※ 目安となる平均外来患者数（日単位）は、**各週の新型コロナウイルス患者とインフルエンザ患者定点報告より推計（毎週公表）**

**外来フェーズの外来患者数は目安であり、医師会等を通じて診療現場の意見も踏まえて切替**

# 1週間平均患者数（推定）の合計（新型コロナウイルス+季節性インフルエンザ）



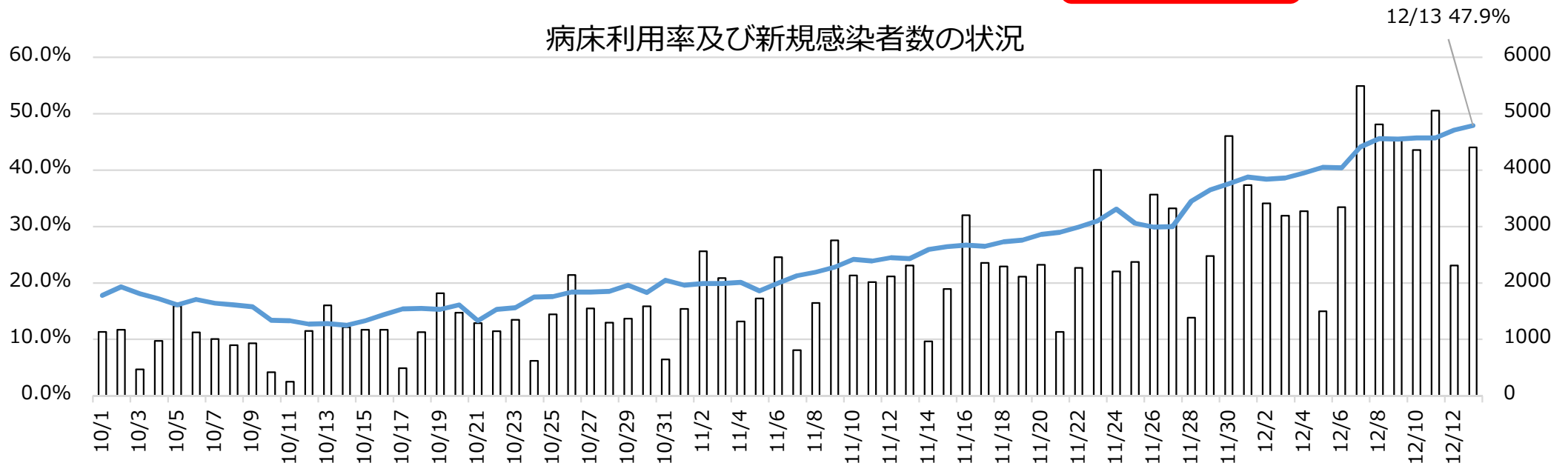
※インフルエンザについては、定点報告期間である前週月曜日から日曜日の患者数から推計

新型コロナについては、直近の患者数を反映するため、インフルエンザ速報日にあわせ水曜日の週平均患者数

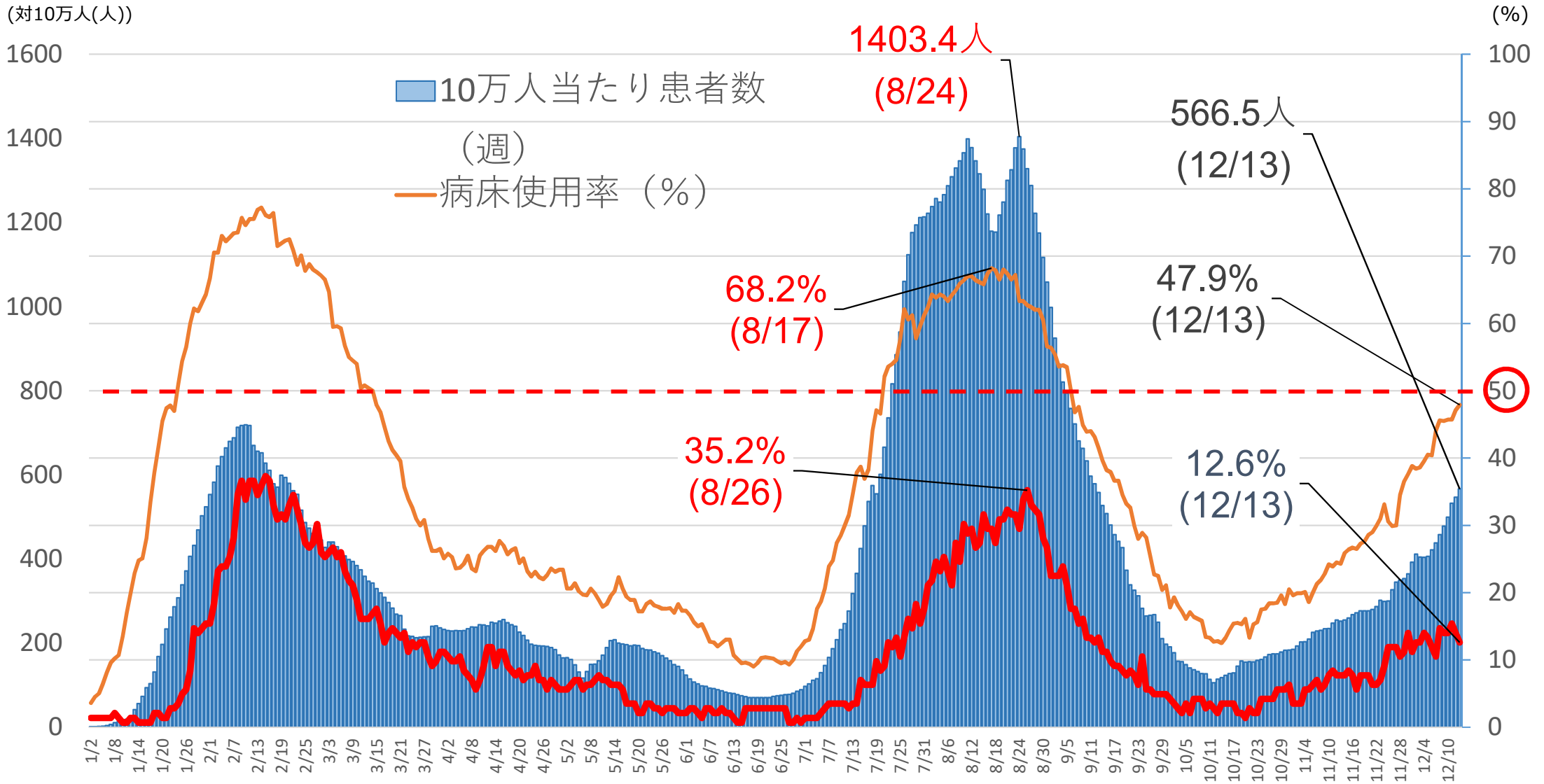
# 入院フェーズの変更（Ⅲ⇒Ⅳ）

○ 病床利用率が上昇傾向にある中、今後の感染拡大に備えるため、入院フェーズⅢ⇒Ⅳに変更(12/14)

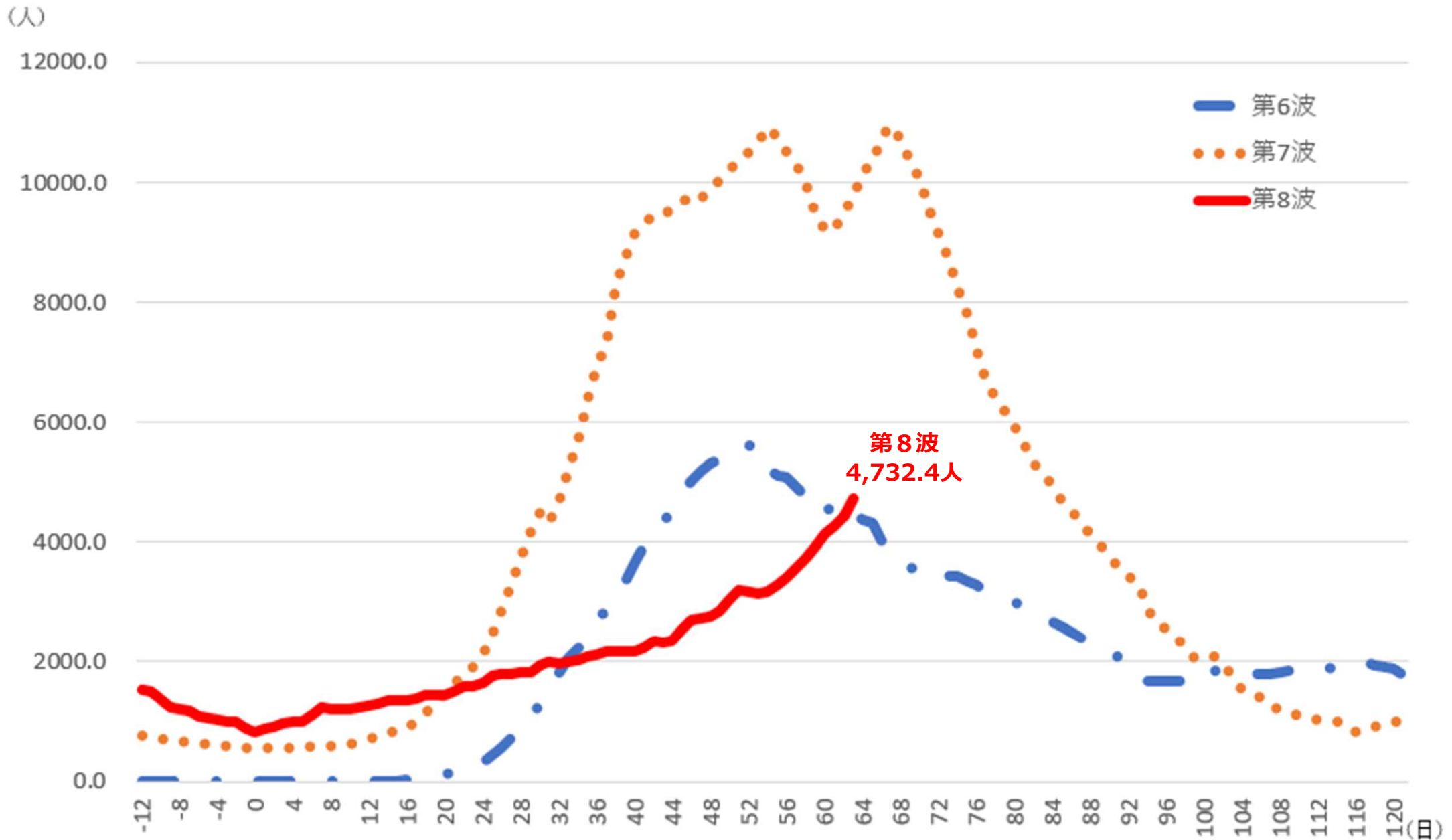
入院フェーズ		I	II	III	IV	V	
切替の目安	病床利用率	10%未満	10%以上	30%以上	50%以上	総合的に判断	
体制	病床	病床数	800床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度	1,700床程度
		うち重症	40床程度	70床程度	100床程度	120床程度	140床程度
	宿泊	室数	800室程度	1,100室程度	1,400室程度	1,700室程度	1,800室程度



# 新規感染者数と病床使用率の推移



# 第6波・第7波・第8波の立ち上がりの比較



※第6波、第7波、第8波のボトムを0週に合わせて立ち上がり进行比较